

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援活動の取組事例

親子のつながりを密にする家庭教育支援活動(岩手県 普代村)

取組の概要や経緯

週休二日制による学校などの休みが増える一方で核家族化や親のメディア依存など様々な課題がある世情にあり、家庭での教育が大切な状況であることから、家庭での教育環境の充実、家庭での親子の接し方などの学習の場や親子で共通の話題となる学習機会を設け、家庭での教育環境の充実を図る。

内容

家庭教育支援に係る人材を確保及び育成するとともに、保護者等が家庭で直接子供に還元できるスキルを身につけることや親子で学ぶ場を設けるなど、家庭教育を充実させ、子供の健全育成、家での教育への取組など家庭での子供の学習環境の好転を図る。

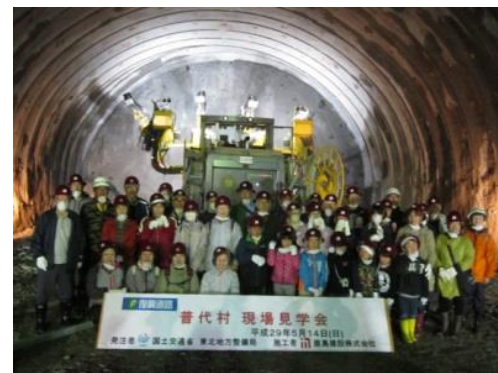
子ども園での家庭での子供との接し方などのセミナーの実施や、親子で参加できる社会勉強の場の提供を行うなど、子供から大人までの教育支援するとともに、子供と地域の大人とのつながりを作る場を設定している。

ポイント

子供との接し方などのセミナーや親子参加での社会勉強などを実施、家庭での共通の話題による親子のつながりを密にし、メディア依存などに陥らないよう、家庭での環境の充実などを図る。

成果

- ・子ども園でのセミナー実施による就学前児童の家庭での接し方の大切さや対話の大切さなどを勉強する場を設け、家庭教育の大切さへの理解を深めた。
- ・工事現場見学会など社会勉強の場を提供し、親子および地域の大人の方に参加いただくことで、親子と地域の大人との関係性を高め、コミュニティの形成の一端を担った。



今後の方向性

幼少期の親子の接し方・対話の重要性を継続知って周知していくとともに、親子の共通の話題となる社会勉強の場の提供および親子と地域の大人との関係性を作り、高めることができる場の提供を行う。